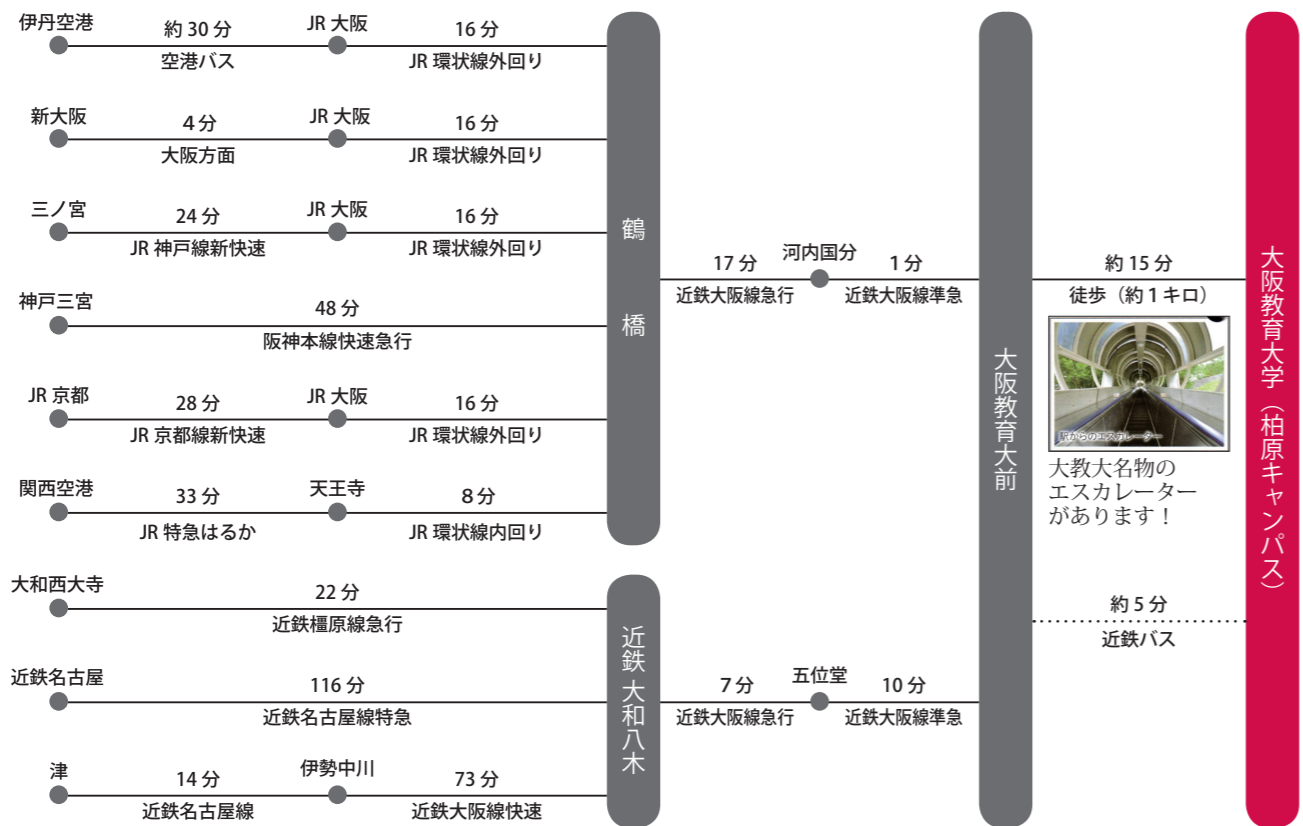
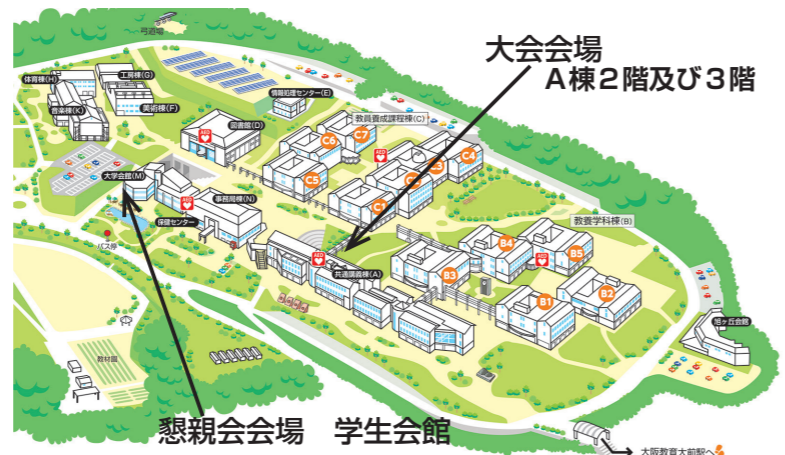


◇会場地図 大阪教育大学柏原キャンパスへのアクセス



- ◇参加申込方法
- ・学会 HP (<http://www.aesj.org>) から申込み、または、下記申込書に記入の上 FAX または郵送。
 - ・郵送：〒600-8371 京都市下京区西門前町426-902 石川和代気付日本美術教育学会
 - ・FAX 075-802-7871 (非通知は受信できません)
 - ※出張依頼書が必要な方はご連絡下さい。

■大阪教育大学へのアクセス
 JR 鶴橋駅で近鉄に乗換
 近鉄大阪線で「大阪教育大前」まで約20分
 駅から徒歩15分
 門衛の所には大教大名物エスカレーターがあります。



第66回日本美術教育学会学術研究大会 大阪大会

人間は生きるための技を身につける必要があります。その基本とされたのが「読み書き算盤」という教育でした。休み時間に、窮屈なお勉強から解き放たれて、子どもたちがフルパワーで熱中する「遊び」はそれ自体が目的です。人間は日常世界を、さまざまな柵の中で生きていかねばなりません。ですが時として、子どもたちと同じ自由な世界を共有することがあります。そこにひらかれて来るのが美と芸術の世界です。芸術というアルスは遊びから生まれます。そこではだれのためでも、何かのためでもない、自分自身の生きる喜びを実感することが出来ます。子どもは教育されるのではなく、むしろわれわれ大人が生きていくための鑑とさえいえます。美術教育の課題は、その芽を枯らさないように、見守り育てていくことではないでしょうか。

日本美術教育学会会長 神林恒道

- ◇開催日時 2017年10月7日(土)・8日(日)
- ◇会場 大阪教育大学柏原キャンパス A棟
 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 (〒582-8582)
 近鉄大阪線「大阪教育大前」下車 徒歩15分
 大阪環状線鶴橋駅で近鉄に乗換 鶴橋駅から約20分



◇大会テーマ 身体と世界がひらかれるとき ～いま、あらためて造形遊びを考える／造形遊びから考える～

- ◇基調提案 佐藤 賢司 (大阪教育大学教育学部 教授)
- ◇共同討議Ⅰ 「子どもの造形と〈遊ぶ身体〉・〈教師の身体〉」
 コーディネーター：須増 啓之 (神戸親和女子大学発達教育学部 助教)
 パネリスト／鷹木 朗 (京都造形芸術大学 芸術教育資格支援センター 教授)
 山口由紀子 (京都光華女子高等学校、関西国際大学 非常勤講師 他)
 宣 昌大 (大阪府摂津市立第三中学校教諭)
- ◇共同討議Ⅱ 「いま、あらためて造形遊びを考える／造形遊びから考える」
 コーディネーター：佐藤 賢司 (大阪教育大学教育学部 教授)
 パネリスト／板良敦 敏 (元文部科学省初等中等教育局教育課程課視学官／元関西国際大学教授)
 山田 芳明 (鳴門教育大学芸術・健康系教育部 准教授)
 松岡 宏明 (大阪総合保育大学児童保育学部 教授)

◇記念講演 (3階 A314)
「子どもの身体・行為からの美術教育 ～造形あそびの展開にみる革新と課題～」
 板良敦 敏 (元文部科学省初等中等教育局教育課程課視学官／元関西国際大学教授)

◇参加費

	事前申込		当日申込		懇親会
	両日参加	1日参加	両日参加	1日参加	
会員	4,000円	3,000円	4,500円	3,500円	6,000円 割引対象ではありません。
一般	4,500円	3,500円	5,000円	4,000円	
学生	1,500円	500円	2,000円	1,000円	

※美術科教育学会及び大学美術教育学会の会員の方の参加費は本会員扱いとなります。
 ※事前申し込み割引：9月30日(土)までに大会参加申し込みと参加費の振込をした場合は参加費を500円引き致します。
 ◇参加費・懇親会費 振込先 郵便局 口座番号 00930-1-96033 口座名称 日本美術教育学会 (他金融機関から) ゆうちょ銀行 ○九九店 当座 96033 日本美術教育学会

第66回 日本美術教育学会学術研究大会 (大阪大会) 参加申込書

※氏名	ふりがな	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 今回から入会を希望します
	会員番号 (封筒の宛名の下に表示されています)	
所属先	(学生の場合学校名を記入、学校名が無記名の場合は学生扱いしません)	※参加日 (○をつけてください) 両日参加・7日のみ参加・8日のみ参加
E-mail アドレス (お持ちの方は必ず)		
※住所	〒	TEL - -
※ 懇親会 (○をつけてください) 参加 不参加		所属学会名 (○をつけてください) 日本美術教育学会・美術科教育学会・大学美術教育学会

主催：日本美術教育学会／後援：大阪府教育委員会・大阪市教育委員会
 協力：造形芸術教育協議会 (美術科教育学会・大学美術教育学会)

《第1日》10月7日(土)

9:30～10:00	受付 (A棟2階)	10:00～10:20	開会・挨拶	神林 恒道 (会長) 佐藤 賢司 (大会委員長)
10:25～10:45	基調提案 (3階A 314) 佐藤賢司 (大阪教育大学教育学部 教授)			
10:55～12:30	【共同討議Ⅰ】 (3階A 314) 子どもの造形と〈遊ぶ身体〉・〈教師の身体〉 コーディネーター 須増 啓之 (神戸親和女子大学発達教育学部 助教) パネリスト 鷹木 朗 (京都造形芸術大学 芸術教育資格支援センター 教授) 山口由紀子 (京都光華女子高等学校、関西国際大学 非常勤講師 他) 宣 昌大 (大阪府摂津市立第三中学校 教諭)			
12:30～13:20	昼食・教材展示 (当日は学生会館にあるレストラン&カフェを営業しております)			
13:20～13:50	第10回美術教育実践研究奨励賞授賞式 会員総会 (3階A 314)			
	A会場 (A 215)	B会場 (A 216)	C会場 (A 213)	D会場 (A 212)
14:00～14:35 (発表25分 質疑10分)	1 なぜ、ゴッホは私の魂を揺さぶるのか! 下森 勇二	鑑賞活動と表現活動をつなぎ、創造性を高める授業構想～詩や音と、線・色・形をつなぐ実践から～ 有川 貴子 (静岡大学教育学部附属浜松小学校教諭)		墨アートの今後 松崎としよ (大和大学教育学部教授) 深水 晴紀 (学校法人海星学園教諭)
14:40～15:15 (発表25分 質疑10分)	2 チームで考える授業づくり～若手、中堅教員を育てる教材開発プロジェクト～ 堤 祥晃 (滋賀県大津市立志賀中学校教諭)	国語の学習と共同して進める鑑賞の授業～ルーブリックを活用して～ 和田 健一 (兵庫県川西市立緑台小学校主幹教諭)	特別支援学校における美術科学習開発について～多様性に対応する教材開発の視点から～ 太田 望 (岡山県立岡山支援学校教諭)	美術における認知構造と社会性 藤原 智也 (愛知県立大学 教育福祉学部准教授)
15:20～15:55 (発表25分 質疑10分)	3 生徒たちが作り始めるまでのこと～授業作りにおいて守るべき視点～ 梶岡 創 (滋賀県大津市立打出中学校教諭)	「先生、これでいいですか？」から「先生、見て見て!!」へと変わっていく授業の一考察～2年生 お話を想像する絵を通して～ 石原 通雄 (京都市立九条塔南小学校教諭)	エクフランスの復権とその可能性について～乖離から融合への模索～ 澤井 雅史 (京都府立聾学校高等部 京都アート科教諭)	西洋児童美術教育の思想：ドローイングは感性と創造性を育むか？ 要 真理子 (跡見学園女子大学文学部准教授)
16:00～16:35 (発表25分 質疑10分)	4 オリジナル模様のブックカバーをつくらう！～つなげて広がるデザイン～ 老松 法光 (京都市立洛風中学校教諭)	1980年度用図工教科書『子どもの美術』における造形遊びの批判的検討 西郷 南海子 (京都大学教育学研究科 博士後期課程)	アートで子どもと地域をつなぐ～宇久島アートフェスティバルの実践を通して～ 井手 淑子 (長崎県教育センター)	多様な「知覚・表現タイプ」への理解に根ざした美術教育授業の課題について 大橋 功 (岡山大学・大学院教育学研究科教授)
16:45～17:45	書道パフォーマンスとミニ・ワークショップ (大阪教育大学書道専攻大学院生・学生有志/A棟1Fピロティ)			
18:00～20:00	懇親会 会場 大阪教育大学生協同組合レストラン (大会館内)			

《第2日》10月8日(日)

9:10～9:40	受付				
	A会場 (A 215)	B会場 (A 216)	C会場 (A 213)	D会場 (A 212)	E会場 (A 105)
9:40～10:15 (発表25分 質疑10分)	4 中学生と美術文化財との接触体験～京都の文化財を守り伝える活動に携わる方々から学ぶ～ 由良知彦 (京都市立桂中学校教諭)	子どもの主体的表現活動を促す環境について 香月欣浩 (四條畷学園短期大学准教授)	美術館に子どもを連れてくるのは誰か～学校と保護者の意識を変える～ 牧井 正人 (福井県観光営業部文化振興課主任)	18歳の造形遊び～乳幼児が感じ、考え、試していることを理解し尊重できる保育者を育てるために～ 森田ゆかり (金城大学短期大学部 幼児教育学科教授)	
10:20～10:55 (発表25分 質疑10分)	5 ジャポニズムを中軸にした逆向き設計論に基づく美術科単元構想 馬淵 哲 (滋賀県大津市立打出中学校教諭)	造形活動における子どもの育ちを保障するために～子どもとの対話から～ 阿部のぞみ (鳥取県境港市立なかはま保育園教諭)	種をまいて育む「つなぐ」美という芽～異校種での実践報告～ 山口由紀子 (京都光華女子学園・関西国際大学…他講師)	身体論が拓く美術教育原理の一考察～木村素衛教育学の論理を手がかりとして～ 門前斐紀 (京都国立博物館学芸部・教育学)	墨アート体験 ワークショップ 松崎としよ (大和大学教育学部教授) NPO法人墨アートプロジェクト
11:00～11:35 (発表25分 質疑10分)	6 小中学校の造形活動における集団と個の相互効果～その題材と指導Ⅰ～ 足立 彰 (京都教育大学附属 京都小中学校教諭)	美術館と連携して幼稚園で試みた鑑賞指導と表現につなげるプロジェクト学習について 飯田 真人 (プール学院大学教育学部准教授) 高間 準 (プール学院大学短期大学部准教授)	女子大学生の立体表現への関心を広げる「立体造形」の指導法～レリーフ制作における感想レポートの活用～ 伊都紀美子 (神戸女子大学助手)	絵画鑑賞における知識と作品理解の関係についての一考察 山田 勝洋 (名古屋女子大学短期大学部)	
11:45～12:30	3学会連携企画 【新しい学習指導要領を考える】				
12:30～13:20	昼食・教材展示 (当日は学生会館にあるレストラン&カフェを営業しております)				
13:20～14:50	記念講演 (3階 A 314) 「子どもの身体・行為からの美術教育 ～造形あそびの展開にみる革新と課題～」 板良敦 敏 (元文部科学省初等中等教育局教育課程課視学官)				
15:00～16:30	【共同討議Ⅱ】 (3階 A 314) 「いま、あらためて造形遊びを考える／造形遊びから考える」 コーディネーター 佐藤 賢司 (大阪教育大学教育学部 教授) パネリスト 板良敦 敏 (元文部科学省初等中等教育局教育課程課視学官) 山田 芳明 (鳴門教育大学芸術・健康系教育部 准教授) 松岡 宏明 (大阪総合保育大学児童保育学部 教授)				
16:30～16:50	総括 (3階A 314) 神林 恒道 (日本美術教育学会会長・大阪大学名誉教授)				
16:50～17:00	次期開催地挨拶 (三重) 及び閉会				